

令和3年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第3四半期 (R3年10~12月)

①業種及び地域別景気動向

業 種	製造業		建設業	卸・小売業			サービス業			
	食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸	
町	売上額	↗☁	→☁	→☁	↗☁	↗☁	↗☁	↗☁	↘☁	↘☁
	仕入単価	→☁	→☁	↗☁	↘☁	→☁	→☁	→☁	→☁	→☁
	採 算	↗☁	→☁	↗☁	↘☁	↗☁	→☁	→☁	→☁	↘☁
内	資金繰り	→☁	→☁	↗☁	↘☁	↗☁	↗☁	→☁	→☁	↘☁
	業界の業況	↘☁	↘☁	→☁	↘☁	↗☁	↗☁	↗☁	→☁	↘☁
北 信	↗ 改善		↗ 改善	↗ 改善		↗ 改善	↗ 改善		→ 不変	
県 内	持ち直しの動きに弱さがみられる									
全 国※	-29.8↗	-18.5↗	-47.9↗	-48.9↗	-42.4↗	-41.6↗				

(※ 景況DI値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

オンライン授業の影響により大学生のスキー合宿等サークル活動の衰退がみられる(宿泊業)

ようやく年末年始の団体予約が回復してきた(飲食店)

最低賃金が上がったが売り上げは伸びず経営を圧迫している(理美容店)

インボイス制度により、課税業者になるが消費税負担が重くのしかかりそうだ(建設業)

《北信》

受注しても支給部品が間に合わず、市場調達も難しくなっている(制御機器)

ウッドショックは価格が落ち着いたが、合板の在庫不足が続いている(総合建設業)

半導体不足で新車販売が停滞。そのため車検を通すユーザーが増えている(自動車販売業)

団体客は回復傾向にあるが、個人客の客足がなかなか戻らない(ホテル業)

《県内》

生産は増勢を鈍化している。乗用車新車販売が5ヵ月連続して下回る。

《全国》

コロナ禍による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの引き続き持ち直しの動きに弱さがみられる

産業全体：売上は改善傾向も、原材料等の高騰や資金繰り等課題の多い

製 造 業：食料品関連を中心に受注は好調も、採算に苦しみ利益は今一歩

建 設 業：原材料や燃料代の高騰により、価格転嫁や資金繰りに苦しむ

小 売 業：経済活性化と歳末需要で好調も、仕入価格高騰など不安要素が残る

サービス業：引き続き回復基調も、仕入価格高騰などで本格的な回復まで今一歩

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」